



にいさん、秋山ひとみさんが来館。軽便鉄道について詳しく話しているのです！

おきなわ ちゃんねる来館



発行月について

開館してから2025年8月で来館者7万人を達成しました。多くのご来館ありがとうございます。

來館者7万人達成

次回の与那原線ウオーキングは3月7日に開催します。次回は「のぼり」コースで、与那原駅発、那覇駅着となります。参加者の募集は1月に開始予定です。

次回与那原線ウォーキ

次回与那原線ウォーキング

次回の与那原線ウォーキングは3月7日に開催します。次回は「のぼり」コースで、与那原駅発、那覇駅着となります。参加者の募集は1月に開始予定です。

来館者7万人達成

開館してから2025年8

駅前マルクト

西園寺さん来館

「駅前マルクト・ヴィンター」を11月29日（土）、30日（日）に開催しました。「ヴィンター」はドイツ語で「冬」の意です。館内で実施した工作ワーク・ショップのほか、館外ではエジプト料理やドーナツ、焼き菓子、コーヒーの出店が軒をつらねました。また、与那原線ウオーキングも開催。今回は「くだりコース」で、那覇駅跡から出发し、5時間ほどかけて与那原駅に到着しました。県外からの参加や小学生の参加もあり、学びながらウォーキングすることができました。

登録者数80万人を誇る鉄道系・旅行系YouTuberの西園寺さんが11月に来館しました。そして、県鉄開業の記念日となる12月1日に「【超弾丸】1泊2日で“沖縄”をどこまで楽しめる！？36時間で限界旅行してみた！」として公開。駅舎資料館では展示見学のほか、駅ノートにもコメント頂きました。与那原のほかにも1泊2日で県内各地を旅行していますので、ぜひご覧ください。駅舎文庫に西園寺さんの著書も配架しています。

さらに12月には脱炭素シンポで来町した石原良純さんも来館されました。鉄道の知識も豊富で楽しい時間となりました。駅ノートのコメントもぜひご覧ください！



2026
1

【発行所】
軽便与那原駅舎展示資料館
与那原町字与那原 3148-1
TEL 098-835-8888

【発行人】
株式会社 YUKAZE (指定管理者)

The image shows the exterior of the Okinawa Prefectural Library. The building is a large, white, neoclassical structure with a prominent portico supported by four columns. A central entrance is flanked by two sets of double doors. Above the entrance is a balcony with railings. The roof features a decorative finial. The building is set against a bright blue sky with a few wispy clouds. In the foreground, there is a paved area and some green grass.

公式サイト、SNS
<https://www.yonabaruekisha.com/>

与那原町立 軽便 与那原駅舎 展示資料館

戦前の沖縄にあった沖縄県鉄道（沖縄県営鉄道／軽便鉄道）。その与那原駅の駅舎を2014年度に復元しました。沖縄県鉄道の歴史や鉄道関係資料を展示する小さな鉄道資料館です。

開館時間 10:00 ▶ 18:00
休館日 火曜日、12/29-1/3
入館料 ￥100（町外）

【入館料無料】町内在住・通勤通学／小学生以下／
ゆいレールのフリー乗車券提示／「障害者手帳」
をお持ちの方とその介助者／まち歩きガイドの一
行／学習を目的とした団体の講師

大正7年1月7日の琉球新報に元日から5日までの県鉄の乗客・収入を示した記事があります。1日平均で那覇駅は1474人、与那原駅は373人で「正月平素より乗客却て少く」とされています。与那原駅は1月3日の乗客が空出して多いのですが、それは186人の団体利用があつたためとのこと。正月から団体利用とは興味深い話ですね。

正月の新聞で、うど大晦日の新聞です。記事には「乗客は勿論例日より増加せるが外に荷物の運搬が多く各列車に貨車三台づゝも連結する位繁忙を極めて居る」とあります。あくまで与那原線しか開通していない時代の話ですが、旧正月のほうが人の往来があり、鉄道利用も多かつたようです。(学芸員K)

一方で大正4年2月13日の琉球新報には「旧年末の市中二、三の記事があります。〔田正〕